

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第千百十六號

大正十三年七月二日(水)

海軍大臣官房

天出

○通牒

教育第二八號ノ二〇

大正十三年七月一日

海軍省 教育局

無線電信遠距離受信檢定成績調査資料ノ件

大正十三年六月第二十回無線電信遠距離受信檢定信文

送信要目左記ノ通

右通知ス

信文		横須賀海軍無線電信所 送信	
番號	送信日時	波長 (米)	電流 (分間)
一	六月二十七日 午前八時 四分	七三〇	一六
二	九時 八分	七三〇	一九
三	十一時 八分	七三〇	一九
		電流	電流
		速度	速度
		信文修正	信文修正

時間	波長	電流	速度
五午後零時 九分	七三〇	一九	壹
六同 零時十一分	七三〇	一九	壹
七同 一時 五分	七三〇	一九	壹
八同 二時 五分	七三〇	一九	壹
九同 三時 六分	七三〇	一九	壹

備考  
 一、送信番號四ハ故障ノタメ取消  
 二、本文ハ十字目毎ニ間隔ヲ置ク  
 三、送信状態 良好  
 四、天候 曇

○雜款

○廢棄艦士佐現場一般調査

七月五日午前十時ヨリ午後三時半迄吳海軍工廠第三船渠ニ於テ水雷爆彈實驗委員及吳鎮現場調査許可證(吳鎮見學許可證ニアラス)ヲ有スル者ノ士佐現場一般調

海軍公報(部内限) 第一二一六號 大正十三年七月二日

二五七

1700

( 備 考 )

海軍公報(部内報)第一二一六號 大正十三年七月二日

三五八

<p>査ヲ行フ 前記諸官ハ委員證又ハ現場調査許可證ヲ與海軍工廠北 門ニ於テ係員ニ差出シ入場スルモノトス 追テ土佐水雷及爆彈實驗關係書類委員證現場調査許 可證及腕章ハ七月十日迄ニ受領處宛返納セラレ度</p>	<p>○ 附 記</p> <p>海軍工廠北門ニ於テ係員ニ差出シ入場スルモノトス</p>	<p>海軍工廠北門ニ於テ係員ニ差出シ入場スルモノトス</p>
<p>海軍工廠北門ニ於テ係員ニ差出シ入場スルモノトス</p>	<p>海軍工廠北門ニ於テ係員ニ差出シ入場スルモノトス</p>	<p>海軍工廠北門ニ於テ係員ニ差出シ入場スルモノトス</p>

1701

# 海軍公報 (部内限) 第千百十七號

大正十三年七月三日(木) 海軍大臣官房



## ○通牒

大正十三年七月一日

横須賀鎮守府副官 吉田 繼 輔

各所轄長殿

石見實驗ニ關スル件

一、曳的艦朝日ノ出動時刻變更ニ件ヒ參加艦船發著豫定時刻ヲ左ノ通變更セラル

一、朝日 第二日(七月九日)午前四時出港

朝日ニ乗艦スヘキ實行委員ハ八日中ニ乗艦ノコト(定期便ハ逸見及水交社ニ揭示ス)

實驗終了後歸著

二、阿蘇 第二日午前七時横須賀發夕刻館山入

第三日午前七時半館山發實驗終了後歸著

三、汐風 兩日共午前八時横須賀發夕刻歸著

四、島風、浦風、灘風

第二日午前八時横須賀發夕刻歸著

第三日午前七時 右 同

但シ島風ハ第二日歸途館山ニ寄港

シ、灘風ハ第二日横須賀ニ歸港セ

サルコトアルヘシ

二、館山方面ニ於ケル旅館收容數

(北條) (館山)

吉野	二〇	公園旅館	三〇
幸田	五〇	新釜屋	二〇
木村	二〇	棧橋旅館	二〇
鏡浦	二〇		
紋浦	三〇		
吉田	二〇		
小松	二〇		

海軍公報(部内限)第一二一七號 大正十三年七月三日

二五九

(限) 内 (部)

# 海軍公報

(部内限) 第千百十八號

海軍大臣官房

大正十三年七月四日(金)

大出

## ○令 達

官房機密第七八七號ノ四

大正十三年官房機密第七八七號砲術講習員中左ノ通改  
正ス

大正十三年七月四日

海軍大臣 財 部 彪

削除 對 馬 海軍少佐 加藤 正

追加 佐世保海兵團 海軍大尉 中野 勝 次

## ○通 牒

艦本第三八九八號

大正十三年七月四日

海軍艦政本部  
海軍省 經理局

各關係廳御中

### 支拂豫算請求書ノ件

新造艦船初度調辨兵器保管運搬ニ要スル豫算等ノ請求書ニハ砲煩、水雷、航海、電氣、航空等兵器主管別ニ區分セル金額内譯書ヲ添付スルコトニ御取計ヲ得度追テ造船造兵費ニシテ軍需部所要ノ豫算請求書ニハ工廠ノモノト區分整理ノ必要上特ニ同部所要ノモノナル旨明記方併セテ御取計相成度申添候

海軍公報(部内限) 第一二一八號 大正十三年七月四日

二六一

1703

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第千百十九號

大正十三年七月七日(月)

海軍大臣官房

大出

○ 辭 令

(各通)

海軍少佐 上野 治作  
海軍造兵中佐 谷村 豊太郎

軍艦長門及伊勢砲身損傷事件査問會委員ヲ命ス

海軍少佐 中島 隆吉

出師準備調査會委員ヲ命ス(以上正七海軍省)

○ 雜 款

○ 訂 正

六月二十六日公報(部内限)號外 聯合艦隊服技施行  
豫定期日一覽表中七月二十五日ノ部ヲ

二五 長門、陸奥第六回教練射撃  
肥前ヲ標的トスル星彈研究射撃發射(金剛、  
比叡、第一驅逐隊)

ニ、同二十八日ノ部中「第一驅逐隊」ヲ「第二驅逐隊」  
ニ、同三十一日ノ部中「第二驅逐隊」ヲ「第五驅  
四、第五驅逐隊」

逐隊「ニ、八月三日ノ部中「名取、長良」ヲ「由  
良、名取」ニ、同四日ノ部中「由良、平戸」ヲ「長  
良、川内、平戸」ニ孰レモ訂正

○ 正 誤

六月二十八日海軍公報(部内限)第一一四號掲載艦  
本第一七二一號艦隊就役中ノ軍艦、驅逐隊、潜水隊ニ  
造船造兵修理用材料供給ノ件 左記中 潜水母艦ノ行ヲ  
削除ス

海軍公報(部内限) 第一二一九號

大正十三年七月七日

二六三

1704

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第千二百二十號

大正十三年七月八日(火)  
海軍大臣官房

○通牒

官房第二一〇八號ノ三

大正十三年七月八日

海軍省副官 藤田 尙徳

關係各廳御中

外交郵便開始ノ件

今般外務省ト在北京帝國公使館間ニ外交郵便開始セ  
ラレ候ニ付在北京帝國公使館附海軍武官宛郵便物ニシ  
テ特ニ機密扱ヲ要スル文書類ハ爾今海軍省ニ於テ取纏  
メタル上一括外務省ニ依托シ發送スルコトト定メラレ  
候條御了知相成度  
右通牒ス

追テ東京ヨリノ該便差立ハ當分ノ間一週二回(火、金  
曜日ノ豫定)ニシテ尙郵便ノ關係上依托發送スヘキ  
モノノ容積ハ通常郵便物ノ程度ヲ超ヘサルコトニ御  
承知置相成度候

海軍公報(部内限)第二一〇號 大正十三年七月八日

二六五

1705

( 部 内 限 )

# 海軍公報

(部内限) 第千二百二十一號

大正十三年七月九日(水)  
海軍大臣官房

## ○通牒

官房機密第九三〇號ノ二

大正十三年七月九日

海軍次官 男爵 安保清種

各 廳 長 殿

海軍大演習施行ノ件

大正十三年海軍大演習ハ左記期日ニ演習部隊ヲ編制シ

十月二日ヨリ約二十三日間施行セシメラレ候

右通牒ス

記

青 軍 九月二十五日

赤 軍 九月二十三日

海軍公報(部内限) 第一二二號 大正十三年七月九日

二六七

1706

(別表)

鳳山海軍無線電信所工事中送受信時間表

(大出)

備考	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	正午	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	正午(西部標準時)			
一、緊急信ニ對シテハ随時送信機ヲ使用ス 二、必要ト認ムルトキハ有線ニテ轉電ヲ行フ 三、本所ノ交信区内ニアル艦船ニシテ馬公無線電信所交信區外ニアル艦船ト雖モ同所ト直接交信シ得ルトキハ同所ト交信ヲ行フ 四、東京無線電信所及艦船ノ鳳山無線電信所ニ對スル放送ハ「レン三」ヲ用ユルヲ例トス	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	正午		
	↑↓	↑↓	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	正午		
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	正午	
	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	正午	
	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	正午	
	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	正午
	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	正午
	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	正午
	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	正午
	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	正午
	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	正午
	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	正午
	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	正午
	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	正午
	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	正午
	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	正午
	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	正午
	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	正午
	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	正午
	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	正午
	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	正午
	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	正午
	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	正午
	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	正午
↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	正午	
↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	正午	



(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第千二百二十二號

海軍大臣官房

大正十三年七月十日(木)

○ 辭 令

海軍主計大佐 淡輪 敏雄

北樺太へ出張ヲ命ス(北樺海軍省)

海軍公報(部内限) 第千二百二十二號

大正十三年七月十日

二六九

1708

( 部 ) 内 ( 限 )

海軍公報 (部内限) 第千二百二十三號

海軍大臣官房

大正十三年七月十一日(金)

○通辭

教育第二八號ノ二一

大正十三年七月十日

海軍省教育局

無線電信遠距離受信檢定成績調査資料ノ件

大正十三年七月第二十一回無線電信遠距離受信檢定信文送信要目左記ノ通右通知ス

番號	送信日時	波長 (米)	送信地 電波 (二分間)	速度	信文修正
一	七月四日 午前八時	三	六〇〇	三	一〇六
二	同十一時	五	六〇〇	三	一〇六
三	同十一時	八	六〇〇	三	一〇六
四	午後零時	三	六〇〇	三	一〇六

○雜款

五	同零時	七	六〇〇	三	一〇三
六	同一時	三	六〇〇	三	一〇四
七	同二時	三	六〇〇	三	一〇三
八	同三時	三	六〇〇	三	一〇三

備考 假空中線使用、送信状態良好、天候曇  
空中線作業ノタメ、タナニ、三ハ午前十一時ニ、  
四、五ハ午後零時ニ送信セリ

○職工解僱

海軍火藥廠ニ於テ本年六月中解僱セル職工左ノ如シ

解僱月日	解僱事由	職名	氏名	生年月日
六、二九	工務規則第二十 八條第一〇號	分析工	明治	六、四、七

海軍公報 (部内限) 第一二二三號 大正十三年七月十一日

二七

1709

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第千二百二十四號

海軍大臣官房

大正十三年七月十四日(月)

○ 通 牒

艦本第四一三九號

大正十三年七月十四日

海軍艦政本部長 吉川 安平

關係各廳長殿

舊軍艦安藝薩摩ヲ標的トスル研究射撃

委員用旅費ノ件

官房機密第一一八六號委員派遣ニ要スル旅費ハ海軍艦政本部ニテ按配可致候條適當ノ時機ニ要求相成度右申進ス

○ 辭 令

海軍中佐 前原 謙治

臨時海軍航空會議議員ヲ命ス(七月十四日海軍省)

○ 雜 款

海軍公報(部内限) 第一二四號 大正十三年七月十四日

○ 第二回廢棄艦土佐實驗日程

七月十九日

同 二十日

同 二十一日

實 驗

準備作業

實 驗

(限内部)

海軍公報

(部内限) 第千二百二十五號

大正十三年七月十五日(火)

海軍大臣官房

○令達

官房機密第九五七號

大正十三年度大演習用艦營需品、燃料ノ取扱方左ノ通定ム

大正十三年七月十五日

海軍大臣 財部 彪

- 一、演習用艦營需品、燃料ハ別ニ豫算ヲ告達ス
- 二、前號以外ノ艦營需品、燃料ハ特ニ告達スルモノノ外既告達豫算内ニテ所辨スヘシ
- 三、演習中増設セラレタル司令部及特設艦船部隊ニ要スル備品ハ貸與、一般用消耗品ハ告達豫算内ニテ所要ノ數額ヲ供給スヘシ
- 四、首席統監部員ハ演習中必要ニ應シ豫算ノ範圍内ニテ演習用行動豫算ヲ増減スルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テハ海軍省軍需局長ニ通知スルモノトス

海軍公報(部内限) 第一二二五號 大正十三年七月十五日

- 五、演習中ニ於ケル第一種炭ハ告達豫算ノ範圍内ニ於テ適宜使用スルコトヲ得  
演習終了後艦船搭載ノ第一種炭ノ使用殘ハ所屬長官ニ於テ經常用告達豫算ノ範圍内ニテ適宜使用セシムルコトヲ得
- 六、演習用行動燃料及消耗品ハ經常用ノモノト區分シテ整理スヘシ但シ相互ニ繰替使用スルコトヲ得
- 七、海軍軍需部長及要港部軍需部長ハ演習終了後演習用トシテ供給又ハ貸與シタル艦營需品ノ品名、數量、金額、燃料ノ品種數量及運搬費ヲ艦船部隊別ニ海軍省軍需局長ニ通報スヘシ
- 八、海軍軍需部長ハ演習終了後演習用供給豫算行動用消耗品豫算、行動豫算及平常豫算決算表ヲ調製シ海軍大臣ニ報告スヘシ
- 九、前各號ノ外ハ艦營需品、燃料ニ關スル規程ニ依ル

官房機密第七八七號ノ五

大正十三年官房機密第七八七號砲術講習員中左ノ通改

二七五

1711

正ス

大正十三年七月十五日

海軍大臣 財部 彪

削除 矢矧 海軍大尉 福田 拓

追加 木曾 海軍大尉 末宗 重雄

官房機密第九一五號ノ二

臨時電信課規程左ノ道定ム

臨時電信課規程左ノ道定ム

大正十三年七月十五日

海軍大臣 財部 彪



臨時電信課規程

一 海軍大臣官房ニ臨時電信課ヲ置ク

二 臨時電信課ハ海軍省、軍令部及艦政本部發受ノ電氣的通信(普通文有線電報ヲ除ク)ヲ統一シテ其ノ運用ヲ敏活ニシ且軍用通信ニ關スル研究資料ヲ蒐集スル所トス

三 臨時電信課ニ左ノ職員ヲ置ク

- 課長 首席課員ノ兼務トス
- 課員 四人 (甲、乙、丙、丁)
- 甲 軍令部出仕兼海軍省出仕將校ヲ以テ之ニ充テ専務課員トス
- 乙 東京海軍無線電信所長ノ兼務トス

丙、丁 軍令部ニ班出仕將校ノ兼務トス  
官房、海軍省一局、軍令部及艦政本部ヨリ判任文官各一人ヲ派出シテ之ニ充ツ但シ必要ニ應ジ筆生ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

四 各職員ノ擔任左ノ如シ  
課長 海軍省首席副官ノ命ヲ承テ職員ノ服務ヲ監督ス

課員(甲) 一般通信事務

課員(乙) 無線通信ノ運用

課員(丙) 通信ニ關スル研究資料ノ蒐集並諸統計ノ調製

同 課員(丁) 狀況ニ應ジ通信事務ノ補助  
計ノ調製

屬員 發受電報ノ電文作成翻譯、關係諸帳簿ノ記註並整理

前項ノ外専務課員ハ左ノ事項ヲ掌理ス  
(一) 屬員ヲ指揮シテ通信事務ノ圓滑ヲ圖リ且備品整備ノ責ニ任ス

(二) 機秘電報及人秘電報ニ付テハ自ラ電文ノ作成翻譯並淨書ニ任ス但シ特ニ指定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

(三) 屬員ノ作成セル暗號文及譯文ヲ査閱ス

(四) 有線及無線通信系ノ現狀並艦船ノ所在及行

五 電報ノ受付、發送、配達ハ左記ニ依リ之ヲ行フ

(イ) 電報ノ受付

(一) 公用電報(官分各局部ヨリ發送ノ)ヲ受付ク

但シ海軍省副官若ハ軍令部副官ノ許可ヲ受ケタルモノハ此ノ限ニ在ラズ

(二) 暗號トスヘキ電報ハ其ノ原文ヲ受付クルヲ例トス

(三) 普通文無線電報ハ發信者ノ記載セル發信紙ニ依リ之ヲ受付クルヲ例トス

(四) 電報ノ發送

(一) 發信スヘキ發信紙ニハ「臨時電信課」ノ體印ヲ捺捺ス

(二) 電報ハ發信者ノ指示スル電報指定ニ應シ受付順序ニ發送スルモノトス

(三) 發信者ニ於テ指定ナキ電報ハ凡テ有線ニ據ル但シ通信系ノ狀況ニ應シ課長特ニ之ヲ指定スルホトヲ得發信者ノ指定アルモノ亦同

(四) 電報ヲ發送シタルトキハ其ノ原文ニ發信時刻及有線無線ノ別ヲ附記シテ發信者ニ返却ス

(ハ) 電報ノ配達

電信局及無線電信所ヨリ接受シタル暗號電報ハ其ノ譯文ヲ各部ヨリノ請求ニ應シ其ノ

六 所要通數ヲ謄寫シテ配達ス

(一) 職員心得

(一) 職員ハ電文ノ機密ヲ嚴守スヘシ

(二) 受信紙ニ直接譯文ヲ記入シ置ク可ラス

(三) 譯文原紙、謄寫版原紙及暗號文ノ作成、翻譯、記註ニ使用シタル紙片ハ勿論室内ノ紙屑ハ一切之ヲ定所ニ取纏メ毎日確實ニ燒却スヘシ

(四) 受信紙綴及件名簿ハ極秘扱トシ必ス鎖鑰ヲ施シタル箇所ニ格納スヘシ

附則

一、本規程ハ大正十三年七月二十一日ヨリ之ヲ實施ス

二、大正十二年四月制定ノ東京海軍無線電信所無線電報處理規程ハ大正十三年七月二十日限之ヲ廢止ス

○ 通牒

教育第二八號ノ二二

大正十三年七月十四日

海軍省 教育局

無線電信遠距離受信檢定成績調査資料ノ件

大正十三年七月第二十二回無線電信遠距離受信檢定信文送信要目左記ノ通

右通知ス

海軍公報(部内限)第一二二五號 大正十三年七月十五日

二七七

備考	二時		一	九	八	七	六	五	四	番號	信文
	二時	六分	二時	一時	一時	零時	午後零時	十一時十五分	七月十一日 午前十一時十二分	送信日時	佐世保海軍無線電信所 送信
一、本遠距離檢定ニハ自働機使用 二、午前ニ送信セル番號一ヨリ三迄ハ送信狀態不 良ナリシタメ取消シノ旨一般ニ通告シ午前十 一時ヨリ毎時二回宛右ノ順序ニ依リ送信セリ 三、本表ニ掲載セル分ハ送信狀態極メテ良好 四、天候晴	九〇〇	一〇〇	九〇〇	九〇〇	九〇〇	九〇〇	九〇〇	九〇〇	九〇〇	波長 (米)	送信地
	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	電流 (分間)
											信文修正

1714

# 海軍公報

(部内限) 第一千二百二十六號

海軍大臣官房

大正十三年七月十七日(木)

## ○令達

官房第二二四〇號

海軍部内電報略語表別冊ノ通改ム

大正十三年七月十二日

海軍大臣 財部 彪

官房第二二九五號

大正十二年七月官房第二六〇五號中「第一、第二及練習艦隊ニ就役スル軍艦、驅逐隊及潜水隊」ノ下ニ「在役特務艦」ヲ加フ

大正十三年七月十六日

海軍大臣 財部 彪

参照

大正十二年七月官房第二六〇五號ハ海軍工廠ヨリ船体、機關及兵器修理用トシテ金屬材料ヲ供給スルコトヲ得ルノ件

## ○通牒

艦本機密第一九四二號

大正十三年七月十六日

海軍艦政本部長 吉川 安平

各工廠長 殿

艦隊就役中ノ軍艦、驅逐隊、潜水隊ニ  
造船造兵修理用材料供給ノ件

大正十二年七月十七日附艦本機密第二六九三號通牒ノ  
本件供給シ得ヘキ艦種及年度配付豫算額中ニ左記ノ通  
追加致候  
右通牒ス

記

特務艦	艦種		
	船体	機關	兵器
一五〇	三〇〇	一〇〇	

年度配付豫算額 (單位圓)

海軍公報 (部内限) 第一千二百二十六號 大正十三年七月十七日

一七九

1715





大演習告示第一號

大正十三年七月十七日

海軍大演習統監部

海軍各廳御中

海軍大演習見學者ノ件

今秋施行ノ海軍大演習見學希望ノ向ハ官職氏名及特ニ希望スル事項ヲ各廳毎ニ取纏メ九月一日迄ニ海軍軍令部内海軍大演習統監部宛御通知相成度右申進ス

追テ見學ノ許否、乗艦ノ指定等ハ統監部告示ニ依リ御承知相成度

○ 辭 令

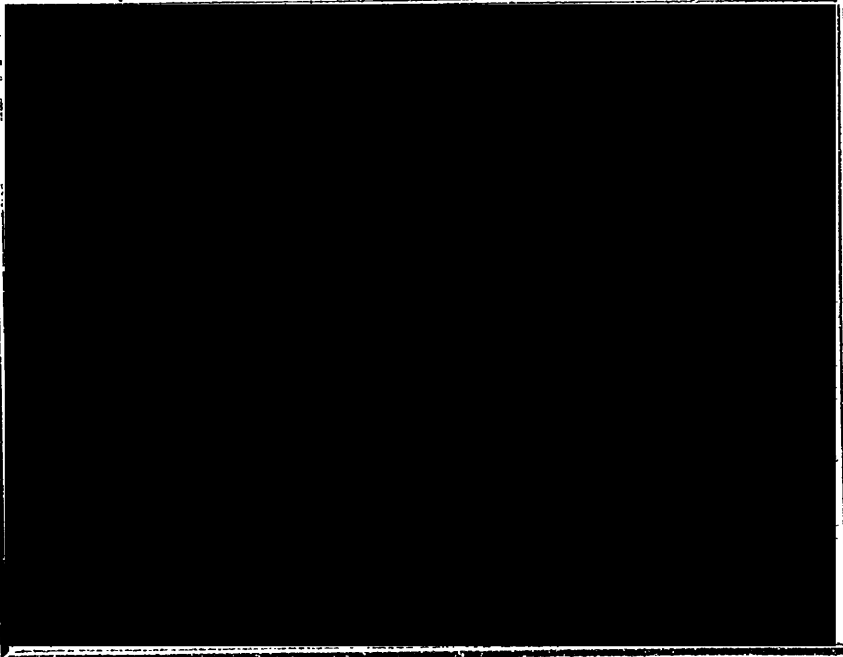
海軍機關大佐 西 義 克

北樺太へ出張ヲ命ス(七月)海軍省)

○ 雜 款

○ 懲 罰

懲罰言渡書



海軍公報(部内限) 第一二二六號 大正十三年七月十七日

二八一

○正誤  
本月十四日公報(部内限)通牒欄本第四一三九號中  
「官房機密第一二八六號」ハ「官房第一二八六號」ノ誤

1717

(部内限)

大正十三年官房第二四〇號別冊

第十一版

# 海軍部内電報略語表

(注意)

- 一、本表ハ大正十三年八月十五日ヨリ使用スヘシ
- 二、本表ノ使用ヲ開始シタルトキハ第十版海軍部内電報略語表ハ焼却スヘシ
- 三、本表ノ略語ハ舊版ノ略語ト相違ノモノアリ注意ヲ要ス



1718

## 凡 例

- 一、本表ノ略語ハ部内各部間ノ電報ニ於テ發信者ヲ表示シ又ハ第三人稱トシテ普通電報ノ本文中ニ使用スヘキモノニシテ其ノ目的ハ電文ヲ簡單ニシ併セテ電報料金ヲ節約スルニアリ
- 二、廳名、職名等ニシテ地名ヲ冠セサルモ誤解ヲ來ス虞ナキ場合ニハ便宜地名ヲ省略スルコトヲ得
- 三、(イ)本表ニハ原語ニ冠セル海軍ノ二字ヲ省略シタルモノアルヲ以テ海軍ノ二字ヲ冠セルモノニシテ「カ」ノ部ニ求メ得サルモノアルトキハ次ノ頭字ニ就テ求ム  
(ロ)缺字アル原語ニ附シタル略語ヲ用フルニハ下ノ例ニ依ル  
例「軍務局第一課長」ハ 一クホ  
「第二驅逐隊司令」ハ 二グホ  
「伊號第三潜水艦」ハ イニセカ
- 四、本表ノ略語ヲ本文(和文)中ニ使用スルニハ其前後ニ句讀點ヲ挿入スルモノトス  
例  
(イ)電文ノ首ニ用フル場合  
「第一戰隊ヲ率キ横濱ニ向ケ發」ハ  
一セヘヲカ、ヨコハマ  
(ロ)電文ノ中間ニ用フル場合  
「在米大使館附武官ヨリノ電報取次ク----- (電文略)」ハ  
ザイベイ、タリヨレ、(電文略)  
(ハ)電文ノ末尾ニ用フル場合  
「着陸奥艦長」ハ  
チヤク、ムホ  
(ニ)電文ノ首尾ニ用フル場合  
「第二艦隊(第二水雷戰隊缺)ヲ率キ着」ハ  
ニガイ(ニスタ、ケツ)ヲヨ

(イ) (ロ)

(ハ)

和文略語	欧文略語	原語	和文略語	欧文略語	原語
イイ	li	醫務局	ハイ	Hai	馬公
イロ	Iro	醫務局長	ハロ	Haro	馬公要港部
イハ	lha	醫務局局員	ハハ	Haha	馬公要港部司令官
イニ	Ini	委員長	ハニ	Hani	馬公要港部參謀長
イホ	lho	委員	ハヘ	Hahe	馬公要港部副官
イヘ	lhe		ハト	Hato	馬公要港部機關長
イト	lto		ハチ	Hati	馬公要港部軍醫長
イチ	liti	伊勢	ハリ	Hari	馬公要港部主計長
イリ	liri	伊勢艦長	ハヌ	Hanu	馬公要港部法務長
イヌ	lnu	五十鈴	ハル	Haru	馬公無線電信所
イル	lru	五十鈴艦長	ハラ	Hao	針尾送信所
イヲ	lo	磐手	ハワ	Hawa	
イワ	Iwa	磐手艦長	ハカ	Haka	
イカ	lka	出雲	ハヨ	Hayo	榛名
イヨ	lyo	出雲艦長	ハタ	Hata	榛名艦長
イタ	lta	磯風	ハレ	Hare	濱風
イレ	lre	磯風驅逐艦長	ハソ	Haso	濱風驅逐艦長
イツ	Iso	磯波	ハネ	Hane	羽風
イツ	ltu	磯波驅逐艦長	ハナ	Hana	羽風驅逐艦長
イネ	lne	石廊	ハラ	Hara	萩
イナ	lna	石廊特務艦長	ハム	Hamu	萩驅逐艦長
イラ	lra	板橋	ハウ	Hau	逆
イム	lmu		ハノ	Hano	逆驅逐艦長
			ハク	Haku	初霜
ロイ	Roi	老虎尾	ハヤ	Haya	初霜驅逐艦長
ロロ	Roro		ハマ	Hama	春風
ロハ	Roha		ハケ	Hake	春風驅逐艦長
ロニ	Roni		ハフ	Hafu	初雪
ロホ	Roho		ハコ	Hako	初雪驅逐艦長

(ハ) (ニ)

(ホ)

ハエ	Hae	初春	ホイ	Hoi	法務局
ハテ	Hate	初春駆逐艦長	ホロ	Horo	法務局長
ハア	Haa	疾風	ホハ	Hoha	法務局局員
ハサ	Hasa	疾風駆逐艦長	ホニ	Honi	砲術學校
ハキ	Haki	早鞆	ホヘ	Hohe	砲術學校長
ハユ	Hayu	早鞆特務艦長	ホト	Hoto	砲術學校副官
ハメ	Hame	白銀	ホチ	Hcti	鳳山無線電信所
ハミ	Hami		ホリ	Hori	鳳山無線電信所長
ハシ	Hasi		ホヌ	Honu	防備隊
ハヒ	Hahi		ホル	Ho u	防備隊司令
ハモ	Hamo		ホヲ	Hoo	砲熯部
ハセ	Hase		ホワ	Howa	砲熯部長
			ホカ	Hoka	砲熯実験部
			ホヨ	Hoyo	砲熯実験部長
			ホタ	Hota	砲術長
			ホレ	Hore	
ニイ	Nii	日進	ホソ	Hoso	
ニロ	Niro	日進艦長	ホナ	Hona	鳳翔
ニハ	Niha	檜	ホラ	Hora	鳳翔艦長
ニニ	Nini	檜駆逐艦長	ホム	Homu	保津
ニホ	Niho		ホウ	Hou	保津艦長
ニヘ	Nihe		ホノ	Hono	帆風
ニト	Nito		ホク	Hoku	帆風駆逐艦長
ニチ	Niti		ホヤ	Hoya	北洋
ニリ	Niri		ホマ	Homa	
ニヌ	Ninu		ホケ	Hoke	
ニル	Niru		ホフ	Hofu	
ニヲ	Nio		ホコ	Hoko	
ニワ	Niwa		ホエ	Hoe	
ニヨ	Niyo		ホテ	Hote	
ニタ	Nita				

(へ) (ト)

(チ)

へイ	Hei	兵學校	チイ	Tii	鎮海
へロ	Hero	兵學校長	チロ	Tiro	鎮海要港部
へハ	Heha	兵學校副官	チハ	Tiha	鎮海要港部司令官
へニ	Heni		チニ	Tini	鎮海要港部參謀長
へホ	Heho		チホ	Tiho	鎮海要港部副官
			チヘ	Tihe	鎮海要港部機關長
			チト	Tito	鎮海要港部軍醫長
トイ	Toi	東京	チチ	Titi	鎮海要港部主計長
トロ	Toro	東京無線電信所	チリ	Tiri	鎮海要港部法務長
トハ	Toha	東京無線電信所長	チヌ	Tinu	鎮海無線電信所
トニ	Toni	東宮武官長	チル	Tiru	父島無線電信所
トホ	Toho	東宮武官	チヲ	Tio	父島無線電信所長
トヘ	Tohe	特命檢閲使	チワ	Tiwa	朝鮮總督府御用掛
トト	Toto	特命檢閲使附	チカ	Tika	中央審判部
トチ	Toti	特務艦	チヨ	Tiyo	中央審判部員
トリ	Tori	特務艇	チタ	Tita	鎮守府
トヌ	Tonu		チレ	Tire	
トル	Toru		チリ	Tiso	
トヲ	Too	利根	チツ	Titu	筑摩
トワ	Towa	利根艦長	チネ	Tine	筑摩艦長
トカ	Toka	常磐	チナ	Tina	長鯨
トヨ	Toyo	常磐艦長	チラ	Tira	長鯨艦長
トタ	Tota	烏羽	チム	Timu	千歳
トレ	Tore	烏羽艦長	チウ	Tiu	千歳艦長
トソ	Toso	時津風	チノ	Tino	千早
トツ	Totu	時津風驅逐艦長	チク	Tiku	千早艦長
トナ	Tona		チヤ	Tiya	
トラ	Tora		チマ	Tima	
トム	Tomu		チケ	Tike	
トウ	Tou		チフ	Tifu	
トノ	Tono				

(リ) (ヌ) (ル)

(ヲ)

ライ	Rii	旅順	ヲイ	Oi	大湊
リロ	Riro	旅順無線電信所	ヲロ	Oro	大湊要港部
リハ	Riha	臨時防備隊	ヲハ	Oha	大湊要港部司令官
リニ	Rini	臨時防備隊司令	ヲホ	Oho	大湊要港部參謀長
リホ	Riho	陸戦隊	ヲヘ	Ohe	大湊要港部副官
リヘ	Rihe	陸戦隊指揮官	ヲト	Oto	大湊要港部機關長
リト	Rito		ヲチ	Oti	大湊要港部軍醫長
リチ	Riti		ヲリ	Ori	大湊要港部主計長
リリ	Riri		ヲヌ	Onu	大湊要港部法務長
リヌ	Rinu		ヲル	Oru	大湊無線電信所
リル	Riru		ヲヲ	Oo	大湊無線電信所長
リヲ	Rio		ヲワ	Owa	大村
リワ	Riwa		ヲカ	Oka	ヲ率キ…ニ向ケ發
リカ	Rika		ヲヨ	Oyo	ヲ率キ着
			ヲタ	Ota	
			ヲレ	Ore	
ヌイ	Nui	沼風	ヲソ	Oso	大井
ヌロ	Nuro	沼風驅逐艦長	ヲツ	Otu	大井艦長
ヌハ	Nuha		ヲネ	One	沖風
ヌニ	Nuni		ヲナ	Ona	沖風驅逐艦長
ヌホ	Nuho		ヲラ	Ora	追風
ヌヘ	Nuhe		ヲム	Omu	追風驅逐艦長
ヌト	Nuto		ヲウ	Ou	隱戸
ヌチ	Nuti		ヲノ	Ono	隱戸特務艦長
ヌリ	Nuri		ヲク	Oku	大泊
			ヲヤ	Oya	大泊特務艦長
ルイ	Rui		ヲマ	Oma	
ルロ	Ruro		ヲケ	Oke	
ルハ	Ruha		ヲフ	Ofu	
ルニ	Runi		ヲコ	Oku	
ルホ	Ruho				



(ワ)

(カ)

ワイ	Wai	若宮	カイ	Kai	海軍省
ワロ	Waro	若宮艦長	カロ	Karo	海軍大臣
ワハ	Waha	巖	カハ	Kaha	海軍次官
ワホ	Waho	巖驅逐艦長	カニ	Kani	海軍大臣官房
ワヘ	Wahc	若葉	カホ	Kaho	海軍省副官
ワト	Wato	若葉驅逐艦長	カヘ	Kahc	海軍大臣秘書官
ワチ	Wati		カト	Kato	海軍省官報報告主任
ワリ	Wari		カチ	Kati	艦政本部
ワヌ	Wanu		カリ	Kari	艦政本部長
ワヲ	Wao		カヌ	Kanu	艦政本部總務部
ワワ	Wawa		カル	Karu	艦政本部總務部長
ワカ	Waka		カヲ	Kao	艦政本部總務部第、課
ワヨ	Wayo		カワ	Kawa	艦政本部總務部第、課長
ワタ	Wata		カカ	Kaka	艦政本部第、部
ワレ	Ware		カヨ	Kayo	艦政本部第、部長
			カタ	Kata	艦政本部第一部第、課
			カレ	Kare	艦政本部第一部第、課長
			カソ	Kaso	艦政本部部員
			カツ	Katu	火薬廠
			カネ	Kane	火薬廠長
			カナ	Kana	火薬廠検査官
			カラ	Kara	火薬廠火薬部
			カム	Kamu	火薬廠火薬部長
			カウ	Kau	火薬廠爆薬部
			カノ	Kano	火薬廠爆薬部長
			カク	Kaku	火薬廠研究部
			カマ	Kama	火薬廠研究部長
			カケ	Kake	火薬廠會計部
			カフ	Ka'u	火薬廠會計部長
			カエ	Kae	火薬廠醫務部
			カテ	Kate	火薬廠醫務部長

## (カ)

カア	Kaa	海兵團	ガノ	Gano	堅田
カユ	Kayu	海兵團長	ガク	Gaku	堅田艦長
カメ	Kame	監督官	ガヤ	Gaya	江風
カミ	Kami	監事長	ガケ	Gake	江風駆逐艦長
カヒ	Kahi	監事	ガフ	Gafu	樺
カモ	Kamo	霞ヶ浦	ガコ	Gako	樺駆逐艦長
カセ	Kase	龜川	ガエ	Gae	桂
ガイ	Gai	(第、)艦隊	ガテ	Gate	桂駆逐艦長
ガロ	Garo	(第、)艦隊司令長官	ガア	Gaa	楓
ガハ	Gaha	(第、)艦隊參謀長	ガサ	Casa	楓駆逐艦長
ガニ	Gani	(第、)艦隊參謀	ガユ	Gayu	柏
ガホ	Gaho	(第、)艦隊副官	ガメ	Gam	柏駆逐艦長
ガヘ	Gahe	艦隊經費主任田納官吏	ガミ	Gami	檜
ガト	Gato	艦隊經費分任田納官吏	ガシ	Gasi	檜駆逐艦長
ガチ	Gati	觀艦式指揮官	ガヒ	Gahi	榎
ガリ	Gari	觀艦式參謀長	ガモ	Gamo	榎駆逐艦長
ガヌ	Ganu	觀艦式指揮官副官	ガセ	Gase	柿
ガル	Garu	觀艦式事務委員長	ガス	Gasu	柿駆逐艦長
ガヲ	Gao	觀艦式事務委員	カボ	Kabo	神風
ガワ	Gawa		カベ	Kabe	神風駆逐艦長
ガカ	Gaka		カド	Kado	關東
ガヨ	Gayo	加古	カチ	Kaji	關東特務艦長
ガタ	Gata	加古艦長	カタ	Kada	神威
ガレ	Gare	加賀	カゾ	Kazo	神威特務艦長
ガソ	Gasu	加賀艦長	カツ	Kazu	
ガツ	Gatu	韓崎	カク	Kagu	
ガネ	Gane	韓崎艦長	カゲ	Kage	
ガナ	Gana	勝力	カフ	Kabu	
ガラ	Gara	勝力艦長	カゴ	Kago	
ガム	Gamu	春日	カデ	Kade	
ガウ	Gau	春日艦長			

(ヨ)

(タ)

ヨイ	Yoi	横須賀	タイ	Tai	大學校
ヨロ	Yoro	横須賀鎮守府	タロ	Taro	大學校長
ヨハ	Y ha	横須賀鎮守府司令長官	タハ	Taha	大學校副官
ヨニ	Yoni	横須賀鎮守府参謀長	タニ	Tani	大演習統監
ヨホ	Yoho	横須賀鎮守府副官	タホ	Taho	大演習統監部
ヨヘ	Yohe	横須賀鎮守府人事長	タヘ	Tahe	大演習審判官
ヨト	Yoto	横須賀鎮守府機組長	タト	Tato	大演習審判輔佐官
ヨチ	Yoti	横須賀鎮守府軍醫長	タチ	Tati	大演習統監部附
ヨヌ	Yonu	横須賀鎮守府主計長	タリ	Tari	大(公)使館附武官
ヨル	Yoru	横須賀鎮守府法務長	タヌ	Tanu	大(公)使館附武官輔佐官
ヨヲ	Yoa	横須賀無線電信所	タル	Taru	臺北在勤海軍武官
ヨワ	Yowa	要港部	タヲ	Tao	代理
ヨカ	Yoka	(第、)豫備艦	タワ	Tawa	
ヨヨ	Yoyo	(第、)豫備驅逐艦	タカ	Taka	
ヨタ	Yota	(第、)豫備特務艦	タヨ	Tayo	龍田
ヨレ	Yore	ヨリノ電報取次ク	タタ	Tata	龍田艦長
ヨソ	Yoso		タレ	Tare	多摩
ヨツ	Yotu		タソ	Taso	多摩艦長
ヨネ	Yone	淀	タツ	Tatu	谷風
ヨナ	Yona	淀艦長	タネ	Tane	谷風駆逐艦長
ヨラ	Yora	蓬	タナ	Tana	太刀風
ヨム	Yomu	蓬駆逐艦長	タラ	Tara	太刀風駆逐艦長
ヨウ	You	淀橋	タム	Temu	橘
ヨノ	Ycno		タウ	Tau	橘駆逐艦長
ヨク	Yoku		タノ	Tano	竹
ヨヤ	Yoya		タク	Taku	竹駆逐艦長
ヨマ	Yoma		タヤ	Taya	蓼
ヨケ	Yoke		タフ	Tafu	蓼駆逐艦長
ヨフ	Yofu		タコ	Tako	高崎
ヨコ	Yoko		タエ	Tae	高崎特務艦長
			タテ	Tate	

(タ) (レ)

(ツ) (ツ)

タア	Taa		ツイ	Soi	宗谷無線電信所
タサ	Tesa		ツロ	Soro	宗谷無線電信所長
タキ	Taki		ツハ	Soha	(第、)掃海隊
タユ	Tayu		ツニ	Soni	(第、)掃海隊司令
タメ	Tame		ツホ	Soho	(第、號)掃海艇
タミ	Tami		ツヘ	Sohe	(第、號)掃海艇長
タシ	Tasi		ツト	Soto	
タヒ	Tali		ツチ	Soti	
タモ	Tamo		ツリ	Sosi	
レイ	Rei	練習部	ツイ	Tui	通信長
レロ	Rero	練習部長	ツロ	Turo	通譯官
レハ	Reha	聯合艦隊	ツハ	Tuha	
レニ	Reni	聯合艦隊司令長官	ツニ	Tuni	
レホ	Reho	聯合艦隊參謀長	ツホ	Tuho	對馬
レヘ	Rehe	聯合艦隊副官	ツヘ	Tuhe	對馬艦長
レト	Reto	練習艦隊	ツト	Tuto	椿
レチ	Reti	練習艦隊司令官	ツチ	Tuti	椿驅逐艦長
レリ	Reti	練習艦隊參謀	ツリ	Turi	梅
レヌ	Renu	練習艦隊副官	ツヌ	Tunu	梅驅逐艦長
レル	Reu	練習艦	ツル	Turu	葛
レヲ	Reo	練習驅逐艦	ツヲ	Tuo	葛驅逐艦長
レワ	Pewa		ツワ	Tuwa	劍埼
レカ	Reka		ツカ	Tuka	劍埼特務艦長
レヨ	Reyo		ツヨ	Tuyo	鶴見
レタ	Reta		ツレ	Ture	鶴見特務艦長
レレ	Rere		ツソ	Tuso	
レリ	Reso		ツツ	Tutu	
レツ	Retu		ツネ	Tune	
レネ	Rene		ツナ	Tuna	

(ネ)

(ナ)

ネイ	Nei	燃料廠	ナロ	Naro	南洋群島在勤武官
ネロ	Nero	燃料廠長	ナハ	Naha	
ネハ	Neha	燃料廠副官	ナニ	Nani	
ネニ	Neni	燃料廠煉炭部	ナホ	Naho	長門
ネホ	Neho	燃料廠煉炭部長	ナヘ	Nahe	長門艦長
ネヘ	Nehc	燃料廠製油部	ナト	Neto	那智
ネト	Neto	燃料廠製油部長	ナリ	Nari	那智艦長
ネチ	Neti	燃料廠採炭部	ナヌ	Nanu	長良
ネリ	Neri	燃料廠採炭部長	ナル	Naru	長良艦長
ネヌ	Nenu	燃料廠研究部	ナヲ	Nao	名取
ネル	Neru	燃料廠研究部長	ナワ	Nawa	名取艦長
ネヲ	Neo	燃料廠會計部	ナヨ	Nayo	那珂
ネワ	Newa	燃料廠會計部長	ナタ	Nata	那珂艦長
ネカ	Neka	燃料廠醫務部	ナレ	Nare	灘風
ネヨ	Neyo	燃料廠醫務部長	ナソ	Naso	灘風驅逐艦長
ネタ	Neta	燃料廠平壤鑛業部	ナツ	Na'u	波風
ネレ	Nere	燃料廠平壤鑛業部長	ナネ	Nane	波風驅逐艦長
ネソ	Neso		ナナ	Nana	檜
ネツ	Netu		ナム	Namu	檜驅逐艦長
ネネ	Nene	子日	ナウ	Nau	梨
ネナ	Nena	子日驅逐艦長	ナノ	Nano	梨驅逐艦長
ネラ	Nera		ナク	Naku	長月
ネム	Nemu		ナヤ	Naya	長月驅逐艦長
ネウ	Neu		ナマ	Nema	鳴戸
ネノ	Neno		ナケ	Nake	鳴戸特務艦長
ネク	Neku		ナフ	Nafu	
ネヤ	Neya		ナコ	Nako	
ネマ	Nema		ナエ	Nae	
ネケ	Neke		ナテ	Nate	
ネフ	Nefu		ナア	Naa	

(ラ) (ム)

(ウ)

ライ	Rai		ウイ	Ui	運用術練習艦副官
ラロ	Raro		ウロ	Uro	選用法
ラハ	Raha		ウハ	Uha	
ラニ	Rani		ウホ	Uho	
ラホ	Raho		ウヘ	Uhe	宇治
ラヘ	Rahe		ウト	Uto	宇治艦長
ラト	Rato		ウチ	Uti	海風
ラチ	Rati		ウリ	Uri	海風駆逐艦長
ラリ	Rari		ウヌ	Unu	浦風
			ウル	Uru	浦風駆逐艦長
			ウヲ	Uo	梅
ムイ	Mui	無線電信所	ウワ	Uwa	梅駆逐艦長
ムロ	Muro		ウカ	Uka	潮
ムハ	Muha		ウヨ	Uyo	潮駆逐艦長
ムニ	Muni	陸奥	ウタ	Uta	卯月
ムホ	Muho	陸奥艦長	ウレ	Ure	卯月駆逐艦長
ムヘ	Muhe	室戸	ウツ	Utu	浦波
ムト	Muto	室戸特務艦長	ウネ	Une	浦波駆逐艦長
ムチ	Muti	武蔵	ウラ	Ura	
ムリ	Muri	武蔵特務艦長	ウム	Umu	
ムヌ	Munu		ウウ	Uu	
ムル	Muru		ウノ	Uno	
ムワ	Muwa		ウク	Uku	
ムカ	Muka		ウヤ	Uya	
ムヨ	Muyo		ウマ	Uma	
ムタ	Muta		ウケ	Uke	
ムレ	Mure		ウフ	Ufu	
ムソ	Muso		ウコ	Uko	
ムネ	Mune		ウエ	Ue	
ムナ	Muna		ウテ	Ute	

(ノ)

(ク)

ノイ	Noi	乗組	クイ	Kui	軍務局
ノハ	Noha		クロ	Kuro	軍務局長
ノニ	Noni		クハ	Kuha	軍務局局員
ノホ	Noho	野風	クニ	Kuni	軍務局第、課
ノヘ	Nohe	野風驅逐艦長	クホ	Kuho	軍務局第、課長
ノト	Noto	野島	クヘ	Kuhe	軍需局
ノチ	Noti	野島特務艦長	クト	Kuto	軍需局長
ノリ	Nori	野間	クチ	Kuti	軍需局局員
ノヌ	Nonu	野間特務艦長	クヌ	Kunu	軍需局第、課
ノル	Noru	能登呂	ケル	Kuru	軍需局第、課長
ノヲ	Noo	能登呂特務艦長	クヲ	Kuo	軍令部
ノウ	Nowa		クカ	Kuka	軍令部長
ノカ	Noka		クヨ	Kuyo	軍令部次長
ノヨ	Noyo		クタ	Kuta	軍令部副官
ノタ	Nota		クツ	Kutu	軍令部參謀
ノレ	Nore		クネ	Kune	軍令部第、班長
ノリ	Noso		クナ	Kuna	吳
ノツ	Notu		クラ	Kura	吳鎮守府
ノネ	None		クム	Kumu	吳鎮守府司令長官
ノナ	Nona		クウ	Kuu	吳鎮守府參謀長
ノラ	Nora		クノ	Kuno	吳鎮守府副官
ノム	Nomu		クク	Kuku	吳鎮守府人事長
ノウ	Nou		クヤ	Kuya	吳鎮守府機關長
ノノ	Nono		クケ	Kuke	吳鎮守府軍醫長
ノク	Noku		クフ	Kufu	吳鎮守府主計長
ノヤ	Noya		クコ	Kuko	吳鎮守府法務長
ノケ	Noke		クエ	Kue	吳無線電信所
ノフ	Nofu		クテ	Kute	軍需部
ノコ	Noko		クア	Kua	軍需部長
ノエ	Nos		クサ	Kusa	軍需部第、課
			クキ	Kuki	軍需部第、課長

(ク)

(ヤ)

クユ	Kuyu	軍需部部員	クノ	Cuno	
クメ	Kume	軍需支部	クク	Guku	
クミ	Kumi	軍醫學校	クヤ	Guya	
クシ	Kusi	軍醫學校長	クマ	Guma	
クヒ	Kuhi	軍醫學校副官	クケ	Cuke	
クモ	Kumo	軍法會議	クフ	Cuf	
クモ	Kuse	軍法會議首席法務官	クコ	Cuko	
クス	Kusu	軍事參議官	クエ	Cue	
クイ	Gui	軍事參議官副官	クテ	Cute	
グロ	Guro	(第、)軍用郵便所			
グハ	Guha	(第、)軍用電信所			
グニ	Guni	(第、)驅逐隊	ヤイ	Yai	山城
グホ	Guho	(第、)驅逐隊司令	ヤロ	Yato	山城艦長
グヘ	Guhe	(第、號)驅逐艦	ヤハ	Yaha	八雲
グト	Guto	(第、號)驅逐艦長	ヤニ	Yani	八雲艦長
グチ	Guti	軍艦	ヤホ	Yaho	矢矧
グリ	Guri	軍醫長	ヤヘ	Yahe	矢矧艦長
グヌ	Gunu		ヤト	Yato	山風
グヲ	Guo		ヤチ	Yati	山風驅逐艦長
グワ	Guwa	球磨	ヤリ	Yari	矢風
グカ	Guka	球磨艦長	ヤヌ	Yanu	矢風驅逐艦長
グヨ	Guyo	楠	ヤル	Yaru	柳
グタ	Guta	楠驅逐艦長	ヤヲ	Yao	柳驅逐艦長
グレ	Cure	桑	ヤワ	Yawa	彌生
グソ	Guso	桑驅逐艦長	ヤカ	Yaka	彌生驅逐艦長
グツ	Gutu	栗	ヤヨ	Yayo	大和
グネ	Gune	栗驅逐艦長	ヤタ	Yata	大和特務艦長
グナ	Guna	栗橋	ヤレ	Yare	
グラ	Gura		ヤソ	Yaso	
グム	Gumu		ヤツ	Yatu	
グウ	Guu		ヤネ	Yane	



(マ)

(ケ)

マイ	Mai	舞鶴	ケイ	Kei	經理局
マロ	Maro	舞鶴要港部	ケロ	Kero	經理局長
マハ	Maha	舞鶴要港部司令官	ケハ	Keha	經理局局員
マニ	Mani	舞鶴要港部參謀長	ケニ	Keni	經理局第、課
マホ	Maho	舞鶴要港部副官	ケホ	Keho	經理局第、課長
マヘ	Mahe	舞鶴要港部機關長	ケヘ	Kehe	建築局
マト	Mato	舞鶴要港部軍醫長	ケト	Keto	建築局長
マチ	M ti	舞鶴要港部主計長	ケリ	Keri	建築局局員
マリ	Mari	舞鶴要港部法務長	ケヌ	Kenu	經理部
マヌ	Manu	舞鶴無線電信所	ケル	Keru	經理部長
マル	Maru		ケヲ	Keo	經理部第、課
マヲ	Mao		ケワ	Kewa	經理部第、課長
マワ	Mawa	滿州	ケカ	Keka	經理部部員
マカ	Maka	滿州艦長	ケヨ	Keyo	建築部
マヨ	Mayo	松	ケタ	Keta	建築部長
マタ	Mata	松驅逐艦長	ケレ	Kere	建築部第、課
マレ	Mare	楨	ケリ	Kaso	建築部第、課長
マリ	Maso	楨驅逐艦長	ケネ	Kene	建築部部員
マネ	Mane	間宮	ケナ	Kena	建築部出張所
マナ	Mana	間宮特務艦長	ケラ	Kera	經理學校
マム	Mamu	松江	ケム	Kemu	經理學校長
マウ	Mau	松江特務艦長	ケウ	Keu	經理學校副官
mano	Mano		ケノ	Keno	飛務所
マク	Maku		ケク	Keku	飛務所長
マヤ	Maya		ケヤ	Keya	計算課
ママ	Mama		ケマ	Kema	計算課長
マケ	Make		ケケ	Keke	元帥
マフ	Mafu		ケフ	Kefu	元帥副官
マコ	Mako		ケコ	Keko	検査官
マエ	Mae		ケエ	Kee	(第、)遣外艦隊
			ケテ	Kete	(第、)遣外艦隊司令官

(ケ)

(フ)

ケア	Kea	(第1)遣外艦隊参謀	ファイ	Fui	文庫
ケサ	Kesa	(第1)遣外艦隊副官	フロ	Furo	文庫主管
ケキ	Keki	警備艦	フハ	Fuha	武功調査委員長
ケユ	Keyu	警備駆逐艦	フニ	Funi	武功調査委員
ケメ	Keme		フホ	Fuho	船橋送信所
ケミ	Kemi		フヘ	Fuhe	部員
ケシ	Kesi	櫂	フト	Futo	副官
ケヒ	Kehi	櫂駆逐艦長	フチ	Futi	副長
ケモ	Kemo		フリ	Furi	副砲長
ケセ	Kese		フヌ	Funu	分隊長
ケス	Kesu		フル	Furu	
			フヲ	Fuo	
			フワ	Fuwa	扶桑
			フカ	Fuka	扶桑艦長
			フヨ	Fuyo	古鷹
			フタ	Futa	古鷹艦長
			フレ	Fure	伏見
			フソ	Fuso	伏見艦長
			フツ	Futu	藤
			フネ	Fune	藤駆逐艦長
			フナ	Funa	吹雪
			フラ	Fura	吹雪駆逐艦長
			フム	Fumu	富士
			フウ	Fuu	富士特務艦長
			フノ	Funo	
			フク	Fuku	
			フヤ	Fuya	
			フマ	Fuma	
			フケ	Fuke	
			フフ	Fufu	

(コ)

コイ	Koi	工廠	コエ	Koe	公試委員長
コロ	Koro	工廠長	コテ	Kote	公試委員
コハ	Koha	工廠總務部	コア	Koa	皇族附武官
コニ	Koni	工廠總務部長	コサ	Kosa	航海長
コホ	Koho	工廠造兵部	コキ	Koki	航空長
コヘ	Kohe	工廠造兵部長	コユ	Koyu	心得
コト	Koto	工廠造船部	コメ	Kome	
コチ	Koti	工廠造船部長	コミ	Komi	
コリ	Kori	工廠造機部	コシ	Kosi	金剛
コヌ	Konu	工廠造機部長	コヒ	Kohi	金剛艦長
コル	Koru	工廠會計部	コセ	Kose	駒橋
コヲ	Koo	工廠會計部長	コス	Kosu	駒橋艦長
コワ	Kowa	工廠醫務部	ゴイ	Goi	膠州
コカ	Koka	工廠醫務部長	ゴロ	Goto	膠州特務艦長
コヨ	Koyo	港務部	ゴハ	Goha	
コタ	Kota	港務部長	ゴニ	Goni	
コレ	Kore	港務部副官	ゴホ	Goho	
コソ	Koso	航空隊	ゴヘ	Gohe	
コツ	Kotu	航空隊司令	ゴト	Goto	
コネ	Kone	航空隊副官	ゴチ	Goti	
コナ	Kona	航空隊飛行隊長	ゴリ	Gori	
コラ	Kora	航空隊氣球隊長	ゴヌ	Gonu	
コム	Komu	航空隊航空船隊長	ゴル	Goru	
コウ	Kou	工作部	ゴヲ	Goo	
コノ	Kono	工作部長	ゴワ	Gowa	
コク	Koku	航空機部	ゴカ	Goka	
コヤ	Koya	航空機部長	ゴヨ	Goyo	
コマ	Koma	購買課	ゴタ	Gota	
コケ	Koke	購買課長	ゴレ	Gote	
コフ	Kofu	工場庫			
ココ	Koko	工場庫主管			

(エ) (テ)

(ア)

エイ	Ei	榎	アイ	Ai	青葉
エロ	Ero	榎驅逐艦長	アロ	Aro	青葉艦長
エハ	Eha	襟裳	アハ	Aha	阿武隈
エニ	Eni	襟裳特務艦長	アニ	Ani	阿武隈艦長
エホ	Eho		アヘ	Ahe	赤城
エヘ	Ehe		アト	Ato	赤城艦長
エト	Eto		アチ	Ati	阿蘇
エチ	Eti		アリ	Ali	阿蘇艦長
エリ	Eri		アヌ	Anu	淺間
エヌ	Enu		アル	Aru	淺間艦長
エル	Eru		アヲ	Ao	吾妻
エヲ	Eo		アワ	Awa	吾妻艦長
エワ	Ewa		アカ	Aka	明石
エカ	Eka		アヨ	Ayo	明石艦長
			アタ	Ata	安宅
			アレ	Are	安宅艦長
テイ	Tei	電氣實驗部	アツ	Atu	天津風
テロ	Tero	電氣實驗部長	アネ	Ane	天津風驅逐艦長
テハ	Teha		アナ	Ana	秋風
テニ	Teni		アラ	Ara	秋風驅逐艦長
テホ	Teho	天龍	アム	Amu	葵
テヘ	Tehe	天龍艦長	アウ	Au	葵驅逐艦長
テト	Teto		アノ	Ano	葦
テチ	Teti		アク	Aku	葦驅逐艦長
テリ	Teri		アヤ	Aya	有明
テヌ	Tenu		アマ	Ama	有明驅逐艦長
テル	Teru		アケ	Ake	朝風
テヲ	Teo		アフ	Afu	朝風驅逐艦長
テワ	Tewa		アコ	Ako	綾波
テカ	Teka		アエ	Ae	綾波驅逐艦長
テヨ	Teyo		アア	Aa	朝日

(ア)

(サ)

アサ	Asa	朝日特務艦長	サイ	Sai	佐世保
アキ	Aki	葦埼	サロ	Saro	佐世保鎮守府
アユ	Ayu		サハ	Saha	佐世保鎮守府司令長官
アメ	Ame		サニ	Sani	佐世保鎮守府参謀長
アミ	Ami		サホ	Saho	佐世保鎮守府副官
アシ	Asi		サヘ	Sahe	佐世保鎮守府人事長
アヒ	Ahi		サト	Sato	佐世保鎮守府機關長
アモ	Amo		サチ	Sati	佐世保鎮守府軍醫長
アセ	Ase		サリ	Sari	佐世保鎮守府主計長
アス	Asu		サヌ	Sanu	佐世保鎮守府法務長
			サル	Saru	佐世保無線電信所
			サヲ	Sao	佐世保無線電信所長
			サワ	Sawa	材料庫
			サカ	Saka	材料庫主管
			サヨ	Sayo	参考館
			サレ	Sate	参考館長
			サソ	Saso	参謀長
			サツ	Satu	参謀
			サナ	Sana	在役特務艦
			サラ	Sara	雑役船
			サム	Samu	
			サウ	Sau	
			サノ	Sano	鯨娥
			サク	Saku	鯨娥艦長
			サヤ	Saya	澤風
			サマ	Sama	澤風駆逐艦長
			サケ	Sake	櫻
			サフ	Safu	櫻駆逐艦長
			サコ	Sako	榊
			サエ	Sae	榊駆逐艦長
			サテ	Sate	佐多

(サ)

(キ)

サア	Saa	佐多特務艦長	キイ	Kii	教育局
ササ	Sasa	猿橋	キロ	Kiro	教育局長
サキ	Saki		キハ	Kiha	教育局局員
サユ	Sayu		キニ	Kini	教育局第、課
サメ	Same		キホ	Kiho	教育局第、課長
サミ	Sami		キヘ	Kihe	機關局
サシ	Sasi		キト	Kito	機關局長
サヒ	Sahi		キチ	Kiti	機關局局員
サモ	Samo		キル	Kiru	機關局第、課
サセ	Sase		キヲ	Kio	機關局第、課長
サス	Sasu		キワ	Kiwa	技術研究所
			キカ	Kika	技術研究所長
			キヨ	Kiyo	技術研究所研究部
			キタ	Kita	技術研究所研究部長
			キレ	Kire	技術研究所工作課
			キツ	Kitu	技術研究所工作課長
			キネ	Kine	技術研究所庶務課
			キナ	Kina	技術研究所庶務課長
			キラ	Kira	技術研究所會計課
			キム	Kimu	技術研究所會計課長
			キウ	Kiu	技術研究所醫務課
			キノ	Kino	技術研究所醫務課長
			キヤ	Kiya	技術研究所出張所
			キマ	Kima	機關學校
			キケ	Kike	機關學校長
			キフ	Kifu	機關學校副官
			キコ	Kiko	機關學校生徒科
			キエ	Kie	機關學校生徒科長
			キテ	Kite	機關學校練習科
			キア	Kia	機關學校練習科長
			キサ	Kisa	機雷實驗部

(キ)

(ユ)

キキ	Kiki	機雷實驗部長	ギム	Gimu	菊驅逐艦長
キユ	Kiyu	魚雷實驗部	ギウ	Giu	如月
キメ	Kime	魚雷實驗部長	ギノ	Gino	如月驅逐艦長
キミ	Kimi	機關研究部	ギク	Giku	菊月
キシ	Kisi	機關研究部長	ギヤ	Giya	菊月驅逐艦長
キヒ	Kihi	技手養成所	ギマ	Gima	
キモ	Kimo	技手養成所長	ギケ	Gike	
キセ	Kise	艦員裝長	ギフ	Gifu	
キス	Kisu	艦裝員	ギコ	Giko	
ギイ	Gii	儀仗隊	ギエ	Gie	
ギロ	Giro	儀仗隊指揮官	ギテ	Gite	
ギハ	Giha	機關長	ギア	Giwa	
ギニ	Gini	教頭	ギサ	Gisa	
ギホ	Giho	教官	ギキ	Giki	
ギヘ	Gihe	教授			
ギト	Gito	教務副官	ユイ	Yui	由良
ギチ	Giti		ユロ	Yuro	由良艦長
ギリ	Giri		ユハ	Yuha	夕張
ギヌ	Ginu	霧島	ユニ	Yuni	夕張艦長
ギル	Giru	霧島艦長	ユホ	Yuho	夕風
ギラ	Gio	衣笠	ユヘ	Yuhe	夕風驅逐艦長
ギワ	Giwa	衣笠艦長	ユト	Yuto	夕暮
ギカ	Gika	北上	ユチ	Yuti	夕暮驅逐艦長
ギヨ	Giyo	北上艦長	ユリ	Yuri	夕立
ギタ	Gita	木曾	ユヌ	Yunu	夕立驅逐艦長
ギレ	Gire	木曾艦長	ユル	Yuru	夕風
ギロ	Giso	鬼怒	ユヲ	Yuo	夕風驅逐艦長
ギツ	Gitu	鬼怒艦長	ユワ	Yuwa	
ギネ	Gine	桐	ユカ	Yuka	
ギナ	Gina	桐驅逐艦長	ユヨ	Yuyo	
ギラ	Gira	菊			

(メ) (ミ)

(シ)

メイ	Mei		シイ	Sii	人事局
メロ	Mero		シロ	Siro	人事局長
メハ	M ha		シハ	Siha	人事局局員
メニ	Meni		シニ	Sini	人事局第、課
メホ	Meho		シホ	Siho	人事局第、課長
メヘ	Mehe		シヘ	Sihe	人事部
メト	Meto		シト	Sito	人事部長
メチ	Meti		シチ	Siti	小演習統監
メリ	Meri		シリ	Siri	小演習統監部
			シル	Siru	小演習審判官
			シヲ	Sio	小演習審判輔佐官
ミイ	Mii	湊	シワ	Eiwa	小演習統監部附
ミロ	Miro		シカ	Sika	侍從武官府
ミハ	Miha		シヨ	Siyō	侍從武官長
ミニ	Mini	妙高	シタ	Sita	侍從武官
ミホ	Miho	妙高艦長	シレ	Sire	司令部
ミヘ	Mihe	峯風	シソ	Siso	司令長官
ミト	Mito	峯風驅逐艦長	シツ	Situ	司令官
ミチ	Miti	三日月	シナ	Sina	司令
ミリ	Miri	三日月驅逐艦長	シラ	Sira	指揮官
ミノ	Minu	水無月	シム	Simu	主計長
ミル	Miru	水無月驅逐艦長	シウ	Siu	出仕
ミヲ	Mio		シノ	Sino	首席職員
ミワ	Miwa		シク	Siku	首席委員
ミカ	Mika		シヤ	Siya	
ミヨ	Miyo		シマ	Sima	
ミタ	Mita		シフ	Sifu	神通
ミレ	Mire		シコ	Siko	神通艦長
ミソ	Miso		シエ	Sie	迅鯨
ミツ	Mitu		シテ	Site	迅鯨艦長
ミネ	Mine		シア	Sia	島風



(ヒ)

シサ	Sisa	烏風驅逐艦長	ヒイ	Hii	病院
シキ	Siki	汐風	ヒハ	Hiha	病院長
シユ	Siyu	汐風驅逐艦長	ヒニ	Hini	病院副官
シメ	Sime	白露	ヒホ	Hiho	病院第、部
シミ	Simi	白露驅逐艦長	ヒヘ	Hihe	病院第、部長
シシ	Sisi	時雨	ヒト	Hito	病院藥劑部
シヒ	Sihi	時雨驅逐艦長	ヒチ	Hiti	病院藥劑部長
シモ	Simo	知床	ヒリ	Hiri	病院消毒部
シセ	Sise	知床特務艦長	ヒヌ	Hinu	病院消毒部長
ジイ	Jii	尻矢	ヒル	Hiru	病室
ジロ	Jiro	尻矢特務艦長	ヒヲ	Hio	廣
ジハ	Jiha	敷島	ヒワ	Hiwa	
ジニ	Jini	敷島特務艦長	ヒガ	Hika	
ジホ	Jiho		ヒヨ	Hiyo	日向
ジヘ	Jihe		ヒタ	Hita	日向艦長
ジト	Jito		ヒレ	Hire	比叡
ジチ	Jiti		ヒソ	Hiso	比叡艦長
ジリ	Jiri		ヒツ	Hitu	平戸
ジヌ	Jinu		ヒネ	Hine	平戸艦長
ジル	Jiru		ヒナ	Hina	比良
ジヲ	Jio		ヒム	Himu	比良艦長
ジワ	Jiwa		ヒウ	Hiu	檜
ジカ	Jika		ヒノ	Hino	檜驅逐艦長
ジヨ	Jiyo		ヒク	Hiku	菱
ジタ	Jita		ヒヤ	Hiya	菱驅逐艦長
ジレ	Jire		ヒマ	Hima	響
ジロ	Jiso		ヒケ	Hike	響驅逐艦長
ジツ	Jitu		ヒフ	Hifu	
ジネ	Jine		ヒコ	Hiko	
ジナ	Jina		ヒエ	Hie	

(モ)

(セ)

モイ	Moi	最上	セイ	Sci	潜水學校
モロ	Moro	最上艦長	セロ	Sero	潜水學校長
モハ	Moha	桃	セハ	Seha	潜水學校副官
モニ	Moni	桃駆逐艦長	セニ	Seni	製鋼部
モホ	Moho	縦	セホ	Seho	製鋼部長
モヘ	Mohe	縦駆逐艦長	セヘ	Sehe	(第、)戦隊
モチ	Moti		セト	Seto	(第、)戦隊司令官
モリ	Mori		セチ	Seti	(第、)戦隊参謀
モヌ	Monu		セリ	Seri	(第、)潜水戦隊
モル	Moru		セヌ	Senu	(第、)潜水戦隊司令官
モヲ	Moo		セル	Seru	(第、)潜水戦隊参謀
モワ	Mowa		セヲ	Sco	(第、)潜水隊
モカ	Moka		セワ	Sewa	(第、)潜水隊司令
モヨ	Moyo		セカ	Seka	(、號第、)潜水艦
モタ	Mota		セヨ	Seyo	(、號第、)潜水艦長
			セレ	Sere	青軍
			セソ	Seso	青軍艦隊
			セツ	Setu	青軍艦隊司令長官
			セネ	Sene	青軍艦隊参謀長
			セナ	Sena	青軍艦隊副官
			セラ	Sera	青軍艦隊司令官
			セム	Semu	青軍艦隊参謀
			セウ	Seu	赤軍
			セノ	Seno	赤軍艦隊
			セク	Seku	赤軍艦隊司令長官
			セヤ	Seya	赤軍艦隊参謀長
			セマ	Sema	赤軍艦隊副官
			セケ	Seke	赤軍艦隊司令官
			セフ	Sefu	赤軍艦隊参謀
			セコ	Seko	
			セエ	See	

## (ス)

セテ	Sete	川内	スイ	Sui	水路部
セア	Sea	川内艦長	スロ	Suro	水路部長
セサ	Sesa	勢多	スハ	Suha	水路部副官
セキ	Seki	勢多艦長	スニ	Suni	水路部第、課
セユ	Seyu	青島	スホ	Suho	水路部第、課長
セメ	Seme	青島特務艦長	スヘ	Suhe	水路部會計課
セミ	Semi	攝津	スト	Suto	水路部會計課長
セシ	Sesi	攝津特務艦長	スチ	Suti	水路部部員
セヒ	Sehi		スヌ	Sunu	水雷學校
セモ	Semo		スヲ	Suo	水雷學校長
セセ	Sese		スワ	Suwa	水雷學校副官
セス	Sesu		スカ	Suka	水雷部
			スヨ	Suyo	水雷部長
			スタ	Suta	(第、)水雷戦隊
			スレ	Sure	(第、)水雷戦隊司令官
			スソ	Suso	(第、)水雷戦隊参謀
			スツ	Sutu	水雷長
			スネ	Sune	
			スナ	Suna	
			スラ	Sura	隅田
			スム	Sumu	隅田艦長
			スウ	Suu	杉
			スノ	Suno	杉驅逐艦長
			スク	Suku	薄
			スヤ	Suya	薄驅逐艦長
			スマ	Suma	董
			スケ	Suke	董驅逐艦長
			スフ	Sufu	洲崎
			スコ	Suko	洲崎特務艦長
			スエ	Sue	
			ステ	Sute	

(限内部)

海軍公報 (部内限) 第千二百二十七號

海軍大臣官房

大正十三年七月十九日(土)

○通牒

官房第二三二二號

大正十三年七月十九日

海軍次官男爵 安保清種

各廳長 殿

内閣訓令ニ關スル件

本件ニ關シ左記ノ通内閣書記官長ヨリ通牒之有候ニ付  
テハ本年官房第二〇五四號海軍大臣訓示ト併セ充分趣  
旨ノ徹底ニ努メラルル様御配慮相成度  
右依命通牒旁々申進ス

記

大正十三年七月十六日

江木内閣書記官長

安保海軍次官殿

通牒

今般内閣訓令號外ヲ以テ内閣總理大臣ヨリ官紀振肅ニ

海軍公報(部内限) 第二二七號

大正十三年七月十九日

二八三

關シ訓諭相成候處右訓令別紙及送付候條貴管下ノ各官  
署ニ配布ノ上訓令ノ趣旨職員一同ニ徹底致ス様特ニ十  
分ノ御手配相成度

(別紙内閣訓令號外添)

○雜款

○正誤

本月十五日海軍公報(部内限)令達欄官房機密第七〇  
七號ノ五中海軍大尉末宗重雄ハ海軍少佐末宗重雄  
誤

# 海軍公報 (部内限) 第千二百二十八號

大正十三年七月二十二日 (火)  
海軍大臣官房

## ○通牒

官房機密第九八〇號

大正十三年七月二十二日

海軍次官 男爵 安 保 清 種

各所屬長官殿

安藝薩摩ヲ標的トスル研究射擊視察見學  
ニ關スル件

來ル八月下旬ヨリ施行セラルヘキ首題研究射擊視察見學ニ關シテハ左記ニ據ルコトト定メラレ候

一、視察見學ヲ許可サルル範圍

(イ) 海軍 士官

(ロ) 陸軍 武官 (現役)

(ハ) 貴衆兩院議員

(ニ) 部内判任官

(ホ) 特ニ海軍大臣ノ認許ヲ得タル者

二、部内 (現役) ノ視察見學者ハ海軍大臣又ハ聯合

艦隊司令長官ノ許可ヲ受クルコト

三、部内豫後備役士官及陸軍武官ニ在リテハ海軍大臣ノ認許ヲ得ルコト

四、兩院議員ノ視察ニ關シテハ別ニ定ム

五、視察見學者ハ聯合艦隊司令長官ノ指定スル艦 (位置) ニ在リテ視察又ハ見學スルコト

六、海軍大臣ノ認許ヲ得タル視察見學者ノ官氏名ハ

海軍大臣官房ヨリ聯合艦隊ニ通知ス

右通牒ス

官房機密第九八一號

大正十三年七月二十二日

海軍次官 男爵 安 保 清 種

各所屬長官殿

戰技成績等秘密保持ニ關スル件

從來艦隊ニテ戰技實施後其ノ成績内容等往々ニシテ新聞紙上ニ散見セシ實例有之甚タ遺憾ノ次第ニ有之候本

海軍公報 (部内限) 第一二二八號 大正十三年七月二十二日

二八五

海軍公報(部内限)第一二二八號 大正十三年七月二十二日

二八六

年ハ戦技ニ引續キ安藝薩摩研究射撃モ施行セラレ候ニ  
就テハ右秘密保持ノ點ニ於テ萬遺算ナキ様特ニ注意セ  
シメラレ度  
右依命申進ス

官房第二三三六號ノ二

大正十三年七月二十二日

海軍省副官 藤田 尙徳

各 廳 長 殿

陸軍特別大演習陪観ニ關スル件

士官ニシテ本年舉行ノ陸軍特別大演習陪観希望ノ向ハ  
各部ニテ取纏メ八月三十一日迄ニ其ノ官氏名御通知相  
成度  
右通牒ス

1745

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第千二百二十九號

大正十三年七月二十三日(水)  
海軍大臣官房

○通牒

官房機密第七八七號ノ六

大正十三年官房機密第七八七號技術講習員中左ノ通改  
正ス

大正十三年七月二十三日

海軍大臣財部 彪

記

削除	佐世保工廠	海軍造船大尉	畑	敏男
追加	同	海軍造船中尉	赤崎	繁
削除	舞鶴要港部	海軍遣兵大尉	村上	三次

海軍公報(部内限) 第千二百二十九號 大正十三年七月二十三日

二八七

(限 内 部)

海軍公報(部内限)附録

大正十三年七月二十三日(水)  
海軍大臣官房

大正十三年五月中ニ於ケル艦船恩給年加算始終期左ノ通 (海軍省軍務局)

艦船名	始 期			終 期			加算率	記 事
	年 月 日	地 名	行 先	年 月 日	地 名	任 務		
櫻	一三、五、三	旅順	支那	一三、五、二二	旅順	外國鎮戍	一月半	
橘	一三、五、三	同	同	一三、五、二二	同	同		
樺	一三、五、三	同	同	一三、五、二二	同	同		
桐	一三、五、三	同	同	一三、五、二二	同	同		
夕暮	一三、五、二二	小樽	露領沿岸			同		
白露	一三、五、二二	同	同			同		
夕立	一三、五、二二	同	同			同		
三日月	一三、五、二二	同	同			同		
石廊				一三、五、一〇	徳山			

海軍公報(部内限)附録



一四八  
二四八  
三〇八  
三六八  
四二八

九〇  
〇〇  
〇〇  
〇〇  
〇〇

早 鞆	一三、五、二九	佐世保	北米沿岸	外國鎮戍			一月半
隱 戸	一三、五、一四	吳	同	同			同
神 威					一三、五、三	徳山	
	一三、五、二六	横須賀	北米沿岸	外國鎮戍			一月半
鶴 見					一三、五、一〇	基隆	
栗 橋	一三、五、二二	小樽	露領沿岸	外國鎮戍			一月半
膠 州	一三、五、二二	同	同	同			同
葦 崎	一三、五、二二	同	同	同			同
佐 多	一三、五、一一	佐世保	北米沿岸	同			同
尻 矢					一三、五、一	横須賀	
(在 役 艦)							
第七十一 潜水艦	一三、五、三一			在役艦			一月
第十六編 逐艦ノ部 左ノ項ヲ加フ							
	一三、三、八	佐世保	支那	外國鎮戍	一三、三、二〇	馬公	一月半
左記艦艇名ノ下ニ各(ハ)リ挿入ス							

第一、二、三、四、五、六、七、八、十、十二、十六、十八 驅逐艦 (一三、四、二四第、號)  
 第一、二、三 掃海艇 (一三、四、二四第、號)  
 歷山丸 (九、七、一、歷山ト改名ス)  
 黒神丸 (九、七、一、黒神ト改名ス)  
 葦崎丸 (九、七、一、葦崎ト改名ス)